

おしあやこ
燕市 PR 大使の大塩綾子さんが
統合浄水場をレポート

「大塩綾子かつどう報告！」を
YouTube で公開中！



▲動画はこ
ちらから視聴で
きます。

燕市 PR 大使でアナウンサーの大塩綾子さんが、新たに
完成した統合浄水場を徹底レポート。最新の浄水設備
などについて分かりやすく動画で紹介しています。ぜ
ひご覧ください。

▼取材時の様子



統合浄水場建設までの
主な出来事



H28 年3月	■広域化に向けての初協議
H28 年4月	■計4回の水道事業広域化研 究会を開催（現状の共有と 共同整備について協議）
H29 年5月	■「水道事業の統合に向けた 協議に関する覚書」を締結
H30 年2月	■計8回の水道事業統合協議 会を開催（統合タイミングや 水道料金などについて協議）
H31 年2月	■「燕市・弥彦村水道事業 広域化基本計画」を策定
H31 年4月	■「水道事業の統合に関する 基本協定書」を締結
R 1年8月	■燕・弥彦総合事務組合で 水道事業の経営開始（広域 化）
R 2年8月	■統合浄水場等整備事業の 事業者を公募
R 2年6月	■契約締結
R 3年4月	■工事着手
R 7年3月	■統合浄水場完成

▶浄水場見学の様子。子
どもたちの見学会やイベン
トなどを予定しています。



interview



統合浄水場の完成で、
燕と弥彦の水道水が生まれ変わる

統合浄水場の建設担当者である、水道局経営企画課の河上係長
にインタビューしました。

燕・弥彦総合事務組合
水道局 経営企画課 計画係長 河上 諭

半世紀に一度の大事業

浄水場の建設にあたり、50
年以上前の浄水場の建設に携
わった当時の職員は一人もい
ませんでした。ノウハウがな
い中で、どのように事業を進
めるべきかが大きな悩みでし
た。また、職員数の減少や職
員間での技術の継承なども問
題となる中、「官民連携」の推
進を、実例が少ない中で全国
に先駆けて進める必要があり
ました。その解決策として、
「DBO（デザイン・ビルド・
オペレート）方式」という、
民間企業の技術力や知識を活
用し、設計・工事に加えて、
完成後の施設の運転維持管理
を委託する新しい契約方式を
採用しました。安全・安心で
おいしい水を安定して供給で
きる水道施設をつくるため、
水道局と事業者で、お互いに
知恵を絞り合い、苦労したも
のがようやく形になりました。

災害にも強く、子どもや孫
の世代まで安心して使用でき
る施設が完成したことが本当
に感慨深いです。

安全・安心の水

水道水は法律で厳しい基準
が設定され、それをクリアし
ているので、安心して飲めま
すし、膜ろ過によってさらに
おいしいと感じられる水を市
民の皆さんに提供できるもの
と思います。市販のボトル水
よりはるかに安価ですので、
燕市が誇るこの水道水をぜひ
積極的に飲んでいただけたら
うれしいです。

開かれた浄水場へ

浄水場は市民生活に直結し
ており、管理運営には細心の
注意が必要な重要施設である
ため、通常時は立ち入ること
はできません。ですが、より
身近な施設とするため、6月
の水道週間に合わせて、イベ
ントを開催し、市民の皆さん
が見学できる機会を設けたい
と考えています（詳細は決定
次第、お知らせします）。その
際は、お気軽に統合浄水場
にお越しいただきたいと思い
ます。